

## 主な記事

ステージアップ

## Stage Up

- ・科学へ関心をもつ子の育成をめざす「科学実験教室サポーター・くじら」
- ・演奏や歌うことの好きな人をつなぐ「音楽好きな友の会」の取組
- ・文化財が人をつなぎ、地域を守り育むまちづくり 川崎市文化財保護活用計画



## 詳細・他記事等

- ◆ 施設めぐり
  - ・大山街道ふるさと館  
高津地域と大山街道の歴史・文化を紹介する施設
  - ・ラゾーナ川崎プラザソル  
さまざまなイベントに対応できるホール
- ◆ 財団情報
  - ・使用料改定のお知らせ  
川崎市生涯学習プラザ新料金(令和2年10月1日より)
  - ・学校支援センター事業について
  - ・お楽しみコーナークイズに答えよう!

◀ 1985年  
アクリル

## &lt;川崎百景&gt;さとう菊夫シリーズ⑭ 川崎駅前広場

品川と横浜を結んで鉄道が開通したのは1872(明治5)年のことである。このとき川崎停車場も開業し、「火を噴く陸蒸気(おかじょうき)」と呼ばれていた。1899(明治32)年1月21日、六郷橋から大師停車場間に、東日本最初の電車が走る。京浜急行電鉄の前身・大師電気鉄道が開業した。国鉄川崎駅ビルの建設に続いて、駅前の交通混雑を緩和させるために京浜急行線の高架工事が行われた。高架線が開通したのは、1966(昭和41)年5月21日のことである。

【20数年～40数年前の川崎の四季、田園風景、名所、茅葺の民家、寺社仏閣等を描いてこられた、さとう菊夫さんの作品をシリーズでお届けします。シリーズ①～⑫は209号～220号、⑬は233号】



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町28番41号

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

<http://www.kpal.or.jp/> E-mail:stage-up@kpal.or.jp

当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するための諸事業を推進しています。

# まち・ひと・多面体

地域における注目すべき取組

## 科学へ関心をもつ子の育成をめざす 「科学実験教室センター・くじら」

### 科学する心の育成

「NPO法人科学実験教室センター・くじら」(以降「同会」と略します)は、子どもの自由な発想力を發揮・育成できる体験活動を重視する科学実験教室を企画、実施することで、子どもの健全な成長を願い、子どもの豊かで健全な好奇心、独創力、創意工夫力、感動する心、科学する心の育成を目指しています。

同会は、2009(平成21)年9月に川崎市教育委員会が主催する「科学センター研究会」に参加したメンバーで発足しました。

会社を定年退職した方や主婦などが会員となっており、現在の会員は26名です。(2020年3月現在)

### 年間50~60回の科学教室



▲ 科学実験教室の様子

地域やイ  
ベント・子ども  
文化セン  
ターや小学校  
(わくわくプラ  
ザ)・その他  
施設(「かわ  
さき宇宙緑の  
科学館」「科  
学技術館」)などからの依頼に応じて、体験を重視した科学実験教室を企画、実施しています。例年、50~60回の科学教室を開催しています。

「教室形式」では、1時間半程度の内容で、事前に参加者を募集し、じっくり学ぶことができます。

大勢の人が参加できる「入れ替え形式」では、15分程度の実験(工作)を行い、科学の楽しさを伝えています。

人数や実験内容によって、2形態の科学実験教室で対応しています。

### 大切にしている定例会



▲ 定例会の様子 (安全面や体験する喜びを相談)

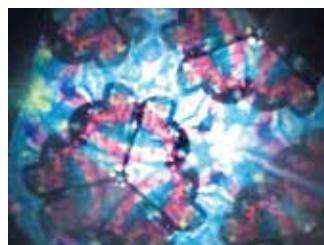
子どもたちが体験を通して「科学って楽しい」と感じ、キラキラとした笑顔があふれる実験教室を実施するため、毎月第2曜日に定例会を開催しています。

当月や翌月の調整・実験教室の流れ・予備実験・子どもたちに分かりやすいか・より自由度をもって体験する喜びを味わえるなどを相談しています。特に、「安全面への配慮」「複数メンバーで子ども一人ひとりへ対応すること」を大切にしています。

### 子どもと会員の笑顔

同会代表の野田賢耶さんに活動の魅力や楽しみについて伺いました。

一つ目は、たくさんの笑顔に出会えることです。まず、実験教室で見せる子どもの輝かしい笑顔です。子どもたちが考え、手を動かし、体験を通して「分かった」「できた」と喜ぶ笑顔を見るたびに、本当にこの活動をしていて良かったと感じます。



▲ 子どもの作った「万華鏡」

また、メンバーの笑顔も素晴らしいです。子どもたちと関わる時に見せる笑顔、実験内容をみんなで話し合う時に見せる笑顔は、私たちの活動の原動力になっています。

二つ目は、子どもたちの柔軟な発想から刺激を受けたり、いろいろな経験や考えをもったメンバー同士で実験教室の内容を検討する中から刺激を受けたりしており、日々自分自身の成長につながっています。

### メンバー募集

科学教室への依頼も増えており、できるだけ対応できるように努めています。そのためにも講師やセンター、実験教室アシスタントをやってみたい方、実験教室を開催したい方を募集しています。



▲自作「くじらのロゴ」

同会の活動に興味をもち、子どもたちと一緒に活動してくださる方は、ぜひお問い合わせください。

#### ■ 問合せ

NPO法人 科学実験教室センター・くじら  
E-mail adon.kenya@nifty.com

## 社会貢献・継続的な活動等

## まち・ひと・多面体

## 演奏や歌うことの好きな人をつなぐ 「音楽好きな友の会」の取組

塚田親一さんは、オーディオ好き、ジャズ好きな仲間と共に「音楽好きな友の会(音友会)」を発足し、その代表を務めています。メンバーがオリジナルテキストを持ち寄るアナログレコード観賞会、元住吉の気軽な音楽会、地元井田中ノ町商栄会イダナカタ市(ゆういち)での投げ銭ライブ、元住吉ミュージック・フェスティバル(MMF)の開催と、その活動は広がり続けています。エネルギーに躍動する塚田さんにお話を伺いました。



▲ ドラムを演奏する塚田さん

塚田親一さんは、オーディオ好き、ジャズ好きな仲間と共に「音楽好きな友の会(音友会)」を発足し、その代表を務めています。メンバーがオリジナルテキストを持ち寄るアナログレコード観賞会、元住吉の気軽な音楽会、地元井田中ノ町商栄会イダナカタ市(ゆういち)での投げ銭ライブ、元住吉ミュージック・フェスティバル(MMF)の開催と、その活動は広がり続けています。エネルギーに躍動する塚田さんにお話を伺いました。

### 仲間とともに趣味の会を発足

レコードを聴いていたお店がなくなってしまい、『じゃあ、レコードをかけられる場所を探して、第1と第3日曜日に例会を開きましょう』というのが音友会の成り立ちです。会といつても、会費があるわけではなくて、参加費で会場を借りて運営する形の趣味の会です。

第3日曜日のジャズの日は、皆がテキストを持ってきて、「今

日聞く曲はこれ。何年頃の録音で、演奏は〇〇」と、ちょっと突っ込んだ、趣味の強い集まりです。参加者は、昔ジャズ喫茶に通っていた人たちが多く、「レコードが聞け



▲音友ハウス「ジャズの集い」

る場所」「ジャズ」というキーワードでネット検索して来るそうです。今は地元の方だけでなく、宮前区とか川崎区、藤沢方面の方もいます。狛江から自転車で来る女性もいるんですよ。

### 音も人も「つながる」ことで広がる世界

学生時代にビッグバンドのマネージャーをやっていたこともあって、人と人をつなぎたり、交渉したりすることが好きなんです。べつに意識しなくとも、話しているうちに、いつの間にか相手も心を開いてくれるような、そんな感じで。

私自身が現役でプレーをしていれば、話は早いんですね。プレーしながら、「今度頼むね」と言えますが、今は現役の人を通して頼みます。ワンクッション置くので返事は遅いのですが、そのぶん人の輪も、また、できることも広がります。イダナカタ市に協力してくれたアーティストとの出会いは、元住吉から音楽を発信しようという「MOTTON CLUB(モットンクラブ)

」の立ち上げにつながりました。こちらは若い方々が主に動いています。

### まち全体で音楽の祭典を

『レコードでジャズを聴いている割には生が聞けてないよね』というので「元住吉の気軽な音楽会」を開催しました。私は、楽器本来の音をお子さんから年配の方まで聞いてほしいので、余計なPA(音響機器)はつけず、演奏者の奏でる音をそのまま楽しめるよう、とにかく「生」にこだわっています。

最初は音楽会と名付けていましたが、「会」ではなく「お祭り」にしたい。「気軽な音楽祭」にしたいというのがそもそも

▲ 第2回 MMF (開催延期)  
出演予定の皆さん

夢で、それが元住吉ミュージック・フェスティバルになりました。

元住吉は川崎の真ん中にあるわけじゃないですか。そして、川崎市国際交流センターのホールがある。中原平和公園には、

川崎広しといえどもここにしかない野外音楽堂があるでしょう。商店街から、駅から、国際交流センター、野外音楽堂、全部を使って、まちぐるみの音楽の祭典を開催したいのです。実際に先輩が、新宿でまちぐるみの音楽の祭典を開催しています。先輩が開催しているのに、自分たちにできないわけがないと、大きな野望を抱いているのです。

### 貴重な音源を次世代に

音友会メンバーもですが、これから皆が年を取っていくと、個人所有のレコードは処分されてしまい、当然ながら、音源が無くなってしまいます。

整然とレコード類が保管されて、いつでも聴ける状況にあって、そこには音楽好きなボランティアが来て管理する。保管している音源リストは全国どこからでもネットで閲覧できる。10畳か12畳のスペースでよいのでそういう場所があって、そして、若い人に引き継いでいければいいなと思います。

「音楽のまち・かわさき」です。資料館としての機能を持つた場所ができる事を、心から願っています。

▲ 魅力的なポートレート  
(人物写真) が表紙を飾る情報誌  
『Mマガジン』(毎月発行)

■ 問合せ 音楽好きな友の会 <http://ontomo.jp>  
MOTTON CLUB <http://mottonclub.com>

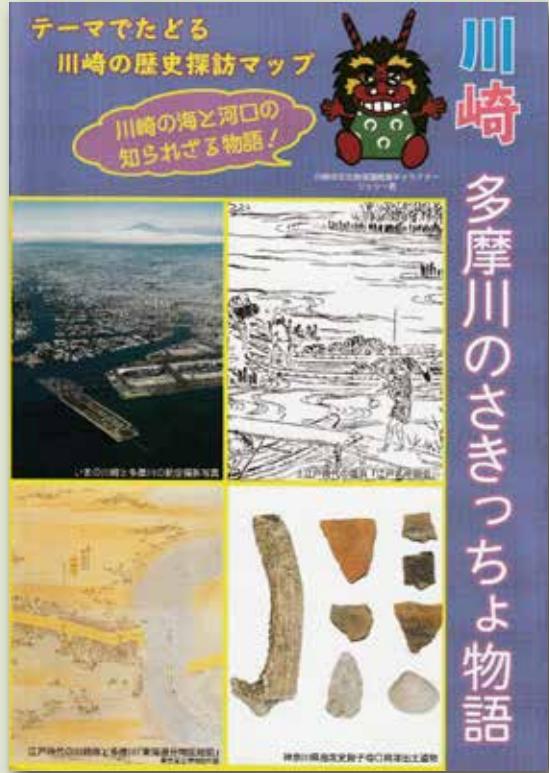
# 特集

## 文化財が人をつなぎ、地域を守り育むまちづくり 川崎市文化財保護活用計画

5つの方針

かわさきの文化財を  
①把握 ②保護活用  
③みんなで支える ④守る ⑤地域で伝承する

### ◆テーマでたどる川崎の歴史探訪マップ「川崎－多摩川のさきつちよ物語」



川崎市教育委員会では、2014(平成26)年3月に策定した文化財保護活用計画の基本理念にある「文化財が人をつなぎ、地域を守り育むまちづくり」を実現するために、5つの方針(かわさきの文化財を「把握・保護活用・みんなで支える・守る・地域で伝承する」)を掲げ、総合的に施策を展開してきました。

その一つとして、「テーマでたどる川崎の歴史探訪マップ－川崎 多摩川のさきつちよ物語物」を2017(平成29)年3月に発行し、5月から配布しました(文化財課・各区役所)。このマップは、かわさきの有形・無形の文化財を、その歴史的・文化的価値や地域的関連性から「一定のまとまり」としてとらえ、ストーリーとして川崎の歴史を探訪するマップとなっています。

文化財ボランティア登録者と事務局が半年にわたって、内容や体裁について議論や学習・フィールドワークを重ねたもので、文化財課として、はじめて市民との協働によって作成されたマップです。

現在の川崎の姿から時間をさかのぼっていて、子どもたちの夏休みの自由研究の題材からシニア世代の生涯学習の場まで幅広い年代に活用できる構成となっています。多くの市民に、川崎市の歴史や文化財への興味関心を持ってもらえるとともに、今後の保存活用への理解を深めることができます。

### ◆構成と内容

- Story.1 世界に肩を並べる港湾・工業都市を目指して
- Story.2 海中新田開発に挑んだ池上幸豊
- Story.3 多摩川治水のための戦い
- Story.4 おおむかしの川崎の海岸の変化
- Story.5 太古の川崎の大地はかつて海の底だった！

### 【年表】

年表は、時代区分・出来事・歴史の人物・土木建築・人類史などで分け、たとえば「Story.3 多摩川治水のための戦い」では、歴史上の人物が出ており、いつの時代か分かるように工夫されている。



### 【説明の内容】

地図にある寺社や石碑には、写真や住所・電話番号を掲載。最寄り駅(停留所)からのおよその時間などもあり、見学時に活用できるように工夫されている。

巻末には、参考文献や文化財を詳しく調べることのできる施設や資料も掲載されている。

### ◆文化財を調べる施設や資料(リーフレットなど)

文化財についてもっと詳しく調べることのできる施設や資料館などは次の通りです。

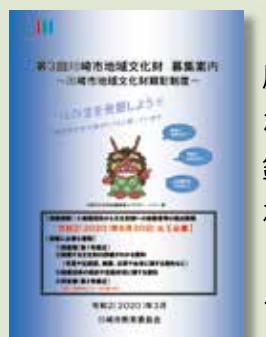
#### ◆施設

- 教育委員会 地名資料室 044-812-1102
- 川崎市立図書館(川崎・幸・中原・高津・宮前・多摩・麻生・分館・閲覧所)

#### ◆資料館など

- |                           |  |
|---------------------------|--|
| ●若宮八幡宮郷土資料室 044-222-3206  | ●『かわさき産業ミュージアム ガイドブック』<br>川崎区役所<br>まちづくり推進部地域振興課<br>044-201-3127 |
| ●川崎の海苔づくり資料室 044-287-6000 |  |
| ●東海道かわさき宿交流館 044-280-7321 |  |
| ●二ヶ領せせらぎ館 044-900-8386    |  |

### ◆川崎市地域文化財顕彰制度



▲第3回川崎市地域文化財候補募集

川崎市地域文化財顕彰制度は、地域に根差した豊富な文化財を幅広く顕彰・記録することで、地域で守られ、伝えられてきた文化財に光をあて、多くの人々にその価値を伝えていくことを目指しています。

### ◆川崎市地域文化財ガイドブック



▲川崎市地域文化財ガイドブック

第1回ガイドブックでは、大戸神社社殿やひとみ座乙女文楽、伝十郎桃など、地域文化財として決定した63件について、市民の皆様が身近に感じていただけるよう写真と概要、所在地を掲載しています。

### ◆古代川崎発見 たちはな遺跡マップ 2015

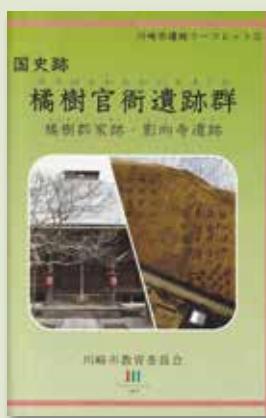


国史跡橋樹官衙遺跡群に関する市内の古墳や遺跡をめぐる地図です。

おすすめの半日・一日コースが掲載されています。

◀古代川崎発見 たちはな遺跡マップ 2015

### ◆国史跡橋樹官衙遺跡群 橋樹郡家跡・影向寺



2015(平成27)年3月10日に川崎市初の国史跡に指定された「橋樹官衙遺跡群」について、詳しく紹介されています。

くにしせき 国史跡  
たちはなきかがいせきぐん  
橋樹官衙遺跡群  
たちはなこく けあと・よごうじ  
橋樹郡家跡・影向寺

# 施設めぐり

## 市内公的施設の紹介

高津区

### 川崎市大山街道ふるさと館

#### 高津地域と大山街道の歴史・文化を紹介する施設

川崎市大山街道ふるさと館(ふるさと館)は、高津地域と、館の前を通る大山街道(江戸時代の正式名称では矢倉沢往還)の歴史・文化を紹介する施設です。

大山街道に面する二子・溝口は、江戸時代から重要な交通の拠点として発展してきました。江戸と伊勢原の大山や、さらにその先を結ぶ商人や旅行客などの往来が、鮎や米、文学や芸術など、地域に様々なモノと文化をもたらしたのです。ふるさと館では、こうした歴史を旧跡の紹介や、主に地域の皆様から寄贈された収蔵資料を通して知ることができます。

館内では、大山街道で行われていた「大山詣り」で用いられた巨大な「納め太刀」や白装束、また、常設展では、高津地域に残されていた古文書や民具などをご覧いただけます。



▲ 納め太刀



▲ 常設展の様子

#### [観覧無料]

#### 企画展「二ヶ領用水とふるさと高津」を開催中!

#### —二ヶ領用水、国登録記念物登録記念—

開催期間:2020年6月20日(土)~9月27日(日)

10時~17時

市内を流れる「二ヶ領用水」が、今年(2020年)3月10日、国の「登録記念物」に登録されました。用水関係では、全国で2例目の国登録記念物です。これを受け、現在、ふるさと館では、企画展「二ヶ領用水とふるさと高津」を開催しています。

川崎地域のほぼ全域に多摩川の豊富な水を供給してきた「二ヶ領用水」は、高津における様々な産業や、住民の生活を育んできました。今でもふるさと館近くの大石橋な



▲ 二ヶ領用水

JR武蔵溝ノ口駅下車徒歩7分  
東急高津駅下車徒歩5分

ど、多くの流域が残され、人々の憩いの場になっています。この企画展では高津を流れる二ヶ領用水をとりあげ、地域の中でどのような歴史を積み重ね、どのような利用がされてきたのかを歴史・民俗の視点からご紹介します。

徳川家康の命令を受けた小泉次太夫によって整備が始まり、1611年に完成して以来、川崎地域を潤してきた「二ヶ領用水」は、高津においても、農業用水、藍染などの染物といった地場産業や工業用水など、さまざまに利用されてきました。また、1941年には、世界的にみても先進的な技術を用いた分水施設である「久地円筒分水」が完成し、今でも重要な史跡として残されています。こうした地域史と結びついた人々と二ヶ領用水との関りについて、ふるさと館所蔵の古文書や民具、写真などの資料や、かつての二ヶ領用水を知っておられる方のお話などから解き明かしていきます。

この企画展を通して、二ヶ領用水と人々の日常が、今よりもずっと身近で、密接にかかわりあっていた時代がみえてくることでしょう。今回の企画展では、普段の常設展では来館者のみなさんの目に触れることのない資料の数々も多く展示いたします。夏休み期間中も開催しますので、自由研究の参考になることでしょう。ぜひご来場ください。

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のために日程等変更となる場合もあります。ご来館いただく前に、ふるさと館のホームページでご確認ください。

#### アクセス



■ 問合せ: 川崎市大山街道ふるさと館

〒213-0001

川崎市高津区溝口3-13-3

電話 044-813-4705 FAX 044-712-0034

<http://furusatokan.web5.jp>

幸  
区

## ラゾーナ川崎プラザソル

川崎駅から至近 ラゾーナ川崎プラザ5階  
さまざまなイベントに対応できるホール



▲ラゾーナ川崎プラザソル入口

ラゾーナ川崎プラザソルは、JR川崎駅から徒歩5分の場所にあり、大勢の方に利用されています。



▲ラゾーナ川崎プラザ外観

ホールには、可動式の客席が200席、音楽が気軽に聴ける会場です。演奏者の表情まで見える小ホールで、毎回、限定ライブ感覚を味わえます。

演劇、ダンスなど生の迫力を伝えることができ、

2日公演、3日公演の予約もできます。

落語、ジャズ、一人芝居、講座など、いろいろなジャンルに対応できる設備となっています。



▲自由にレイアウトできるホール

パーティー、商品発表会、説明会…駅前だからとても便利です。客席をしまって、フロアを自由にレイアウトして利用できます。

### 音響・照明設備

たくさんの音響・照明設備があります。

段床客席は手動ロールバック形式で、4名程度で引き出す(又は収納する)ことができます。

バックヤードには、舞台のひな壇が収納されています。



JR川崎駅改札(中央南・中央北)を出て西側へ  
改札よりホール入口まで徒歩約5分



毎月第3火曜日18時30分から開演

2012年6月から毎月1回市内の南北2ヶ所で落語寄席を開催しています。

ラゾーナ川崎プラザソルでは、毎月第3火曜日夜に開催しています。寄席開催時には、演者と、支える会や参加者の皆様との交流会を行っています。

■ラゾーナ寄席 2020年度 每月第3火曜日  
7/21、8/18、9/15、10/20、11/17、12/15  
2021年 1/19、2/16、3/16  
※チケットの発売は開催日の2ヶ月前から

ラゾーナ寄席 世話人 初音家左橋・桂米多朗

### 施設利用

(1)利用申込と期間

利用条件により、常時、1年前、6ヶ月前、3ヶ月前から申込みができます。

(ラゾーナ川崎プラザソルのホームページ 基本料金のページ参照)

(2)利用時間 10:00~22:00

分割利用 ①10:00~12:30 ②13:00~17:00  
③18:00~22:00

### アクセス



■問合せ:ラゾーナ川崎プラザソル

〒212-8576

川崎市幸区堀川町72-1ラゾーナ川崎プラザ5F

電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151

E-mail: info@plazasol.jp

<http://www.plazasol.jp>



## 使用料改定のお知らせ 令和2年10月1日より

生涯学習プラザの使用料について、令和2年10月1日利用分より新使用料が適用されます。今後も職員一同、利用者の皆さんに親しまれる施設運営に努めてまいりますので、なにとぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

## 改定後 施設使用料

令和2年10月1日より

部屋名	平日使用料金（税込み）					
	午前		午後		夜間	
	9:00~12:00	13:00~17:00	17:30~21:00	9:00~21:00		
401 大会議室	6,740円	7,860円	8,980円	23,570円		
301 会議室	3,360円	4,490円	5,610円	13,460円		
303 会議室	2,280円	3,010円	3,820円	9,120円		
201 会議室	3,360円	4,490円	5,610円	13,460円		
202 会議室	2,810円	3,930円	5,040円	11,780円		
101 活動室	1,680円	2,240円	2,810円	6,730円		
部屋名	9:00~ 11:00	11:00~ 13:00	13:00~ 15:00	15:00~ 17:00	17:00~ 19:00	19:00~ 21:00
402 フィットネスルーム ※シャワー利用可（無料）	2時間単位で 3,930円 空き室の場合は前後延長1時間 1,570円					19,650円
302 多目的ルーム	2時間単位で 2,810円 空き室の場合は前後延長1時間 1,110円					14,030円
203 活動室						

\* 土曜日・日曜日・祝日は規定料金の2割増となります。営利を目的としてご利用いただく場合も割増となります。  
設備・備品使用料も同時に改定いたします。詳しくは、お気軽にお問い合わせください。

## 地域学校協働事業

## 学校支援センター

学校からの相談に応じ、学習支援、学校環境整備、登下校安全指導等、多様な教育活動の展開を支える学校支援ボランティア等をコーディネート（紹介）する「学校支援センター事業」を今年度から本財団が市から受託して実施します。

この事業は、昨年度までは市内のそれぞれの区ごとに実施しておりましたが、今年度から市内一ヶ所に統合しました。それに伴い、これまで週4日の午後のみに相談対応をしていましたが、今年度からは平日全ての午前・午後に対応できるようにいたしました。また、ボランティアの人材情報も市内全てを把握できるため、情報の充実が図られるとともに、希少な分野の人材についても区域を超えた活用が可能となります。

## 【相談受付】

☎080-3584-0712

9時から16時



▲学校からの相談に対応する  
支援員さん

◆お楽しみコーナー  
Stage Up 234号  
クイズに答えよう！



「テーマでたどる川崎の歴史探訪マップ 川崎  
〇〇〇のさきっちょ物語」は、ストーリーとして川崎の歴史を探訪するマップとなっています。  
〇にあてはまる言葉を入れてください。  
『〇〇〇のさきっちょ』※ヒントP4-5

## 【応募方法】

- ①答え ②〒・住所 ③氏名 ④Stage Upの入手場所
- ⑤今号の誌面でよかつた記事（理由）を書いて、はがき、FAX、Eメールで担当宛、応募してください。

※締切 2020年7月31日 必着

※正解 ホームページ及び次号に掲載

※正解者3名に500円の図書カードを贈呈

（発表は発送に代えさせていただきます）

〒211-0064 中原区今井南町28-41

川崎市生涯学習財団 Stage Up（ステージアップ）担当  
Eメール:stage-up@kpal.or.jp

TEL 044-733-5811 FAX 044-739-0085

※個人情報は、発送業務以外の目的では使用しません。



☆233号のクイズの答え・・・川崎